

リーディングDXスクール事業【実践事例】

須坂市立東中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 単元（題材）の中で、個別最適な学びと協働的な学びが生まれる場面を設計する

単元（題材）の中で個別最適な学びが生まれやすい場面と協働的な学びが生まれやすい場面を整理し、各教科で基本となる学習の流れを確認した。

個別最適な学びを実現させるための学習展開

導入

追究（求）

終末

- ①問いをもつ
- ②予想を立てる
- ③学習内容を知る
- ④追究（求）計画を立てる
 - ・ 時間
 - ・ 方法
 - ・ 順番
 - ・ 情報活用
 - ・ 学習環境

- ⑤追究（求）する
 - ・ 教科書、資料集を理解する
 - ・ 動画を視聴する
 - ・ 追究シートに情報をまとめる
 - ・ 知識・技能を確認する
- ⑥教師のチェックを受ける
- ⑦特設の課題やパフォーマンス課題に取り組む
- ⑧学習を振り返る

- ⑨問いに対する自分の考えをまとめる

リーディングDXスクール事業【実践事例】

須坂市立東中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 単元（題材）の中で、個別最適な学びと協働的な学びが生まれる場面を設計する

協働的な学びを実現させるための学習展開

導入

追究（求）

終末

- ①問いを共有する
- ②予想を共有する
- ③学習内容を共有する

- ④他者参照しながら追究（求）する
- ⑤友や外部と情報共有をしながら追究（求）する
- ⑥外部の専門家などから情報を得る

- ⑦友のまとめや成果物を共有する

4 単元における個別最適な学び、協働的な学びについて

個別最適な学びを実現するために、4点を特に意識をした。1点目、学習の順番や時間の使い方を自分で選択できるようにした。2点目、誰の質問にいくつ答えるか、自分で選択できるように設定した。3点目、その人に合った有益な情報を、インターネットやアイデア集などを参考にして、内容、順番、使う英語など自由に選択できるようにした。4点目、質問や表現に悩んだ際に、教師の自作資料や、オンライン掲示板・スライド上で他者参照できるようにした。また、追究に関するシートなどはclassroom上にあげておくことで、いつでもどこでも参考にできるようにした。

classroomにアップした資料など



実際の流れと完成例・家族紹介スライド質問集・表現集・アイデア集・オンライン掲示板
お助け動画・デジタルホワイトボードでの動画の撮り方

協働的な学びを実現するために、同じ選択をした人同士で相談したり、一緒に活動したりできるスペースを作る。また、オンライン掲示板にALTの先生にどんな質問をしたか記入することで、お互いに参考にできるようにした。

4 単元における個別最適な学び、協働的な学びについて

〈個別最適な学びを実現するために〉

- ・学習の手引きで学習の流れを確認し、個々の学習計画を立てる。
- ・教科書の資料だけではなく映像の資料を用意し、またインターネットでの情報収集と利用を取り入れ、追究の方法を各自が選択し、見通しをもった学習になるようにする。
- ・まとめのドキュメントを2種類用意し、調べてまとめることが苦手な生徒も自分のペースで取り組めるようにする。また、ドキュメント以外のツールの使用も許可していく。

〈協働的な学びを実現するために〉

- ・各自がまとめにつかっているツール（問題追究シート）を参照できるようにし、友達の追究の様子を参考にしたり、相談相手を見つけたりできるようにする。（必要により生徒がまとめたものを印刷して掲示し、それを参考にして相談相手を見つけられるようにする。）
- ・学習問題3については、友達と一緒に追究することもよいものとする。

指導案（構想カード）の中に、この単元で特に意識をした個別最適な学びと協働的な学びの一体化を実現するための手立てについて記入をする項目を設けた。